

ホッとな地域の話題 -新規就農者編-

名前
と 戸部

はやと
颯斗
ひろ
陽



経営の概要

- ✖ 地域 妹背牛町
- ✖ 品目 花き
(スターチスシネンシス等)
- ✖ 就農年月 令和7年4月
- ✖ 前職 新卒で就農

就農しようと思ったきっかけ

妻の陽さんは、中学生の頃に日本の食料自給率が低いことを学び、農業に興味を持った。大学在学中に就職活動をする中で、企業で働く自分を想像できず農業をやりたいと思い、大学で出会った颯斗さんに相談し、二人で就農を目指した。

大学3年生の時に北海道農業公社に相談したところ、妹背牛町で離農予定の花き農家があったことから、卒業後に町内で2年間研修を受けた上で、第三者継承で就農した。

両親を説得するために、農業経営と人生プランについて資料を作成してプレゼンを行い、さらにJA職員の協力を得て、就農予定農地や花き選花場等の現場を見てもらった。

就農してよかったこと・苦労したこと

花きは見ても楽しむ植物であるため、栽培していても楽しい。大型の機械を使用せず手作業が多いため大変ではあるが、その分やりがいがある。分からないことがあれば、継承元農家や町内の花き農家、JA職員等が親身に相談に乗ってくれるため心強い。ただし、同じ町内でも土地によって栽培条件が異なるため、日々試行錯誤しながら花きに向き合っている。

第三者継承のため、必要な施設や機械をそのまま使用することができ、初期投資を抑えることができた。一方で、設備が古いいため壊れやすく、急に機械が動かなくなる等のトラブルがあり、その対応に苦労することがある。

スターチスシネンシスは、単体で花束にするより花束の中に添える用途で使われることが多いことから、**時期を問わず需要が安定している。**

今後の展望

経営が安定するまではスターチスシネンシスを主として栽培し、余裕が出てきたら自分たちの好きな花を栽培していきたい。